



森下さち子ニュース

【2010年5月号】和歌山市鳴神 1145-6 Tel. 474-6556
市議員団ホームページ <http://jcpwkym.sakura.ne.jp/> Tel. 435-1113

《ごみは私たちの身近な問題》 市民参加で ごみ減量・環境問題にとりくもう！

ごみ問題を考えよう

和歌山市は4月から資源ごみの集団回収制度を発足させるなど、ごみ減量の具体的な取り組みをスタートさせました。

私は一昨年、「廃棄物対策審議会」の委員として、市長から諮問を受けて、「家庭系ごみの有料化」について議論したことを通じ、議会での一般質問や他都市への勉強会などに積極的に取り組んできました。

今回の集団回収や資源

ごみの行方、組成分析の意義など、改めてごみ問題を市民参加で取り組むことの大切さを痛感しています。できるだけ多くのみなさんとともに、毎日出るごみのことを考え、減量に取り組んでいきたいと考えています。

組成分析に 立ち会いました

青岸地区の廃棄物焼却場で市が年4回「組成分析」（パッカー車で市内全域から収集された一般

家庭ごみの中身を分析する作業）を行っています。

5月13日、朝9時に青岸エネルギーセンターの入り口へ大畑議員、南畑議員、渡辺議員、中村事務局員、そして私の5人が集合し、組成分析に立ち会いました。



今年は雨の多い冬に続いて、5月らしい気温の時もあるものの、いつまでたっても寒いと感じる日が続いています。キャベツなどの春野菜が高騰したのもこの気温のせいでした。ようやく値段が落ち着いてきましたが、天候はすっきりしません。気温の差が激しいこともあり体調が気になるところです。旬のものをしっかりと食べ、少しの運動を取り入れるなど健康管理に心がけたいものです。

入ってきますが、そのうちの何かは、端に設けられたコンベヤーの上に収集したごみを出します。

（裏面につづく）

みんなで考えよう、 そして取り組もう

6月5日（土）午後2時～

勤労者総合センターにて ごみ「集団回収」の学習・交流会を開催します。一般廃棄物課より、「集団回収」の手順がよくわかるDVDを使って説明を受けた後、みなさんで交流したいと思います。

多くのみなさんのご参加を心よりお待ちしております。



その他行事

- 5月30日（日）14:00～
「女性のつどい」中之島連絡所
- 6月13日（日）
和歌山県母親大会 御坊市にて

8月1日☆市長選挙とともに 市会議員補欠選挙があります



こんにちは、松坂みち子です。

私は和歌山市で生まれました。小さいころは父親の転勤で四国などを転々とし、大学進学で上京してからは関東地方にいましたが、3年前母と住むために戻ってきました。子供はおいを含めて2男3女を育てました。また、茨城県で町議・市議を8年間勤めさせていただきました。この経験を生かして、住みよい和歌山市をめざし、がんばります。みなさんと市政を結ぶパイプをより太くするためにも、市政を正す力をより強くするためにもご支援をよろしく願いいたします。

松坂みち子◇プロフィール

和歌山市善明寺生まれ、53歳。お茶の水女子大教育学科卒
茨城県江戸崎町議および稲敷市議として8年の経験
現在党地区役員、新日本婦人の会和歌山市支部委員、県平和委員会理事

「ごみ問題をかんがえよう！」

混ぜた後、混ざっている資源ごみを取り除き、6分割してそれぞれ計量します。そのうちの2つ分くらいを持ち帰り内容を分析します。

感想でした。紙類を分別し生ごみを堆肥化する、あるいは乾燥させれば飛躍的に量を減らすことができるのでは・・・と思いました。

資源ごみの行方

みなさんが苦労して分別したビン・カン・ペットボトル・廃プラスチックなどが

のようにリサイクルされ、私たちの生活に関わっているのでしょうか。

特に、廃プラスチックは、せっかく分別しても収集後、燃やしているのではな



いかとの疑問が多く寄せられています。

容器・包装リサイクル法に基づいて分別収集されることになった当初は、確かに液化燃料として使われていました。しかし、今はビンなどを収めるトレイを作っているとのこと。ただ、いまだにプラマークのついたもの以外のプラスチックが混入しているため、これは手作業で分けて、焼却場へ運んでいます。



こんにちは！ 藤井健太郎です

(ふじいけんたろう)



みなさん、こんにちは。県会議員のふじい健太郎です。この季節は暑くなったり寒くなったりでお天気が安定しない日が続いていますが、政治の世界も一向に安定のきざしを見せず、国民の願いからかけはなれつつあるようです。

今、私は日本共産党の経済提言をもって業界・事業所訪問をすすめています。この「こんなはずじゃなかった」という声があちこちから聞こえてきます。小倉の木工団地では、「政権が変わっても仕事は減り続けている、廃業を真剣に考えている」、民主党のポスターを張っている貴金属店でも「今年に入って売り上げが激減、これで消費税をあげられたらやっていけない」など。景気は上向いているとの報道がありますが、市内の事業所を訪問する限りではいい話は聞かれません。

日本共産党の経済提言は言います。この10年で働く人の給料は279兆円から253兆円まで減る一方、大企業の利益は15兆円から32兆円に増え、さらに内部留保は142兆円から229兆円に急増している。国民を犠牲にしてためこんだお金を国民のくらしに還元させる政治が必要と。私の訪問は、まだまだ続きます。

県会議員 藤井健太郎

生活相談

随時、受け付けています
市役所控え室
Tel. 435・1113
毎水曜日
午後1時～4時
花山の森下事務所にて
Tel. 475・8122



おつきく なあれ

森下さち子の
元昔の
成長日記

小学校1年生から続けてきた合唱団もこの7月で卒団です。長いようであつという間の11年でした。習いことは体育系、文化系どちらでも良かったのですが、そこはやはり親の意向が大きく影響しますね。「音楽に関わらせたい」という私の思いが9割以上を占めており、「やめたらいっかあかん」何度バトルを繰り返したことでしよう。元故にとっては「親にやらされている」という感覚の方がより強かったかもしれません。感情のままに吐りつけたことなど反省することしきりです。しかし一方では、ドイツへの演奏旅行、他の学校とのつながりで生まれた友人関係、歌の楽しさ、ハーモニカの響き合いななど、その時々において、合唱や友人関係を謳歌できたのではないかとおもっています。毎週土曜日、合唱団へ通い続けた日々を後々になって思い出す時、元故にとって、とうとう位置を占めているのか、母は楽しみでもあり、少し怖くもあります。